

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三四・四七二
毎週一回発行

12月市議会

日本共産党市議団 根本みはる市議の質問 議会傍聴にお越しく下さい

豊田市12月定例会市議会が12月6日に開会します。会期は、23日までの18日間です。日本共産党の根本みはる市議は一般質問で市民の声をもとに市政に提起します。(日程参照)
質問の概要をお伝えします。ぜひ傍聴にお越しく下さい。

午後12月21日(水) 午後2時頃

根本みはる市議

午後の2人目



都心の開発とバス ターミナルの廃止計画

都心環境計画における整備が計画されている。計画にある豊田市駅東口バスターミナルの廃止による市民への影響を聞き、再検討の考えを問う。

(1) 都心の商業と中心市街地 活性化計画

- ① 駅前通り北地区再開発による、既存の商業系事業所の転出・廃業の状況。
- ② K i T A R A ビルの商業系事業所の入居の変化と床面積
- ③ 歩行者通行量の目標値設定の根拠



(2) 都心環境計画と未来デザイン

- ① 再開発事業の事業費と市費負担
(豊田市駅を中心とした、豊田そごう) K i T A R A の再開発事業の事業費総額と、市費負担)
- ② 都心環境計画における今後の整備事業費
- ③ 「都心の未来デザインマップ」のイメージの考え方

(3) バスターミナルの廃止計画

- ① イベント開催時に停車場線のフルモル化した影響調査
- ② 豊田市駅東口バスターミナルの廃止による平日時の影響調査
- ③ 平日時の通行止めの影響調査
- ④ バスターミナルの廃止計画の一旦見直し・再検討の考え

河川整備と 水害対策

台風19号による災害を教訓に、河川整備、情報伝達と避難訓練、都心の立地適正化計画を見直しの考えを聞く。

- (1) 河川の整備について
- ① 鶴の首狭窄部周辺の整備内容
- ② 籠川合流部から上流の整備内容

- (2) 情報伝達と避難訓練
- ① ダムの事前放流のタイミング、自治体・住民への情報の伝達
- ② 浸水想定区域での避難における課題

(3) 立地適正化計画と災害対策

立地適正化計画では、重点的に居住を集積させる地区として重点居住促進区域を設定する。災害から都心を守るため、立地適正化計画と災害対策への考えを聞く。

- ① 立地適正化計画における都心の位置づけを見直す考え

加齢性難聴者の 補聴器購入の補助制度

加齢性難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな原因となっており、最近では、うつや認知症の危険因子になることも指摘されている。

- (1) 加齢性難聴者の補聴器購入補助制度の創設
- ① 加齢性難聴による日常生活への影響
- ② 加齢性難聴者の補聴器購入補助制度の創設



お知らせ

地域医療と病院問題を考える会

12月8日(日)

午前9時30分~12時頃

若林交流館

主催 地域医療と病院問題を考える会

野党「追及本部」が 真相究明に全力

安倍総理の「桜を見る会」私物化疑惑

総理の後援会を税金で接待。それを批判されると「私は知らない」。資料を要求されると「廃棄した」。揚げ句に「来年は中止する」と幕引きはかる——疑惑かくしは許されません。野党の追及で次々事実が明らかになってきました。



総理主催「桜を見る会」追及チームのヒアリング＝11月12日

「私は関与していない」

国会で虚偽答弁

11月8日の参院予算委員会で野党から追及された総理は、「私は主催者としてのあいさつや招待者の接待は行いが、招待者の取りまとめなどには関与していない」と答弁。しかし、証拠（一面写真）もあるように、取りまとめたのが総理の事務所であることは歴然たる事実です。明らかな虚偽答弁です。

総理は11月20日の参院本会議で「私自身も、推薦者について意見を言うこともあった」と関与を認めました。疑惑はさらに深まっています。

「名簿は廃棄した」

野党が資料要求した日に

野党の追及を逃れるために、招待者の名簿を廃棄したのでは——新たな疑惑も浮上しています。国会ではじめて、この問題を野党が質問したのは5月13日。その準備のため、「招待者に関する資料」を要求したのが5月9日。まさにその日に、内閣府が名簿を廃棄していました。

よっぽど見られては困る名簿だったのか。明らかな「証拠隠滅」ではないでしょうか。

セキュリティの観点からも重要な招待者名簿を軽々に廃棄してしまうのも、文書取扱い上、深刻な問題です。

総理は、国会で

きちんと説明すべきです